



(上)「第21回紫蔦会」(平成7年)で【白浪五人男】の日本駄右衛門を演じる故・藤間蔦也(中央奥)と南郷力丸を演じる藤間蔦佑(下手)
(下) 蔦也氏の振付作品のひとつ、新内【応挙の幽霊】



藤間蔦也追善 創立九十周年記念

第二十七回

紫蔦会

(会主 藤間伸枝、藤間蔦佑)

——七月七日(土)十二時 高崎市文化会館

七月七日(土)、高崎市文化会館に於いて、「第二十七回紫蔦会」(会主 藤間伸枝、藤間蔦佑/補導 藤間秀嘉)が開催される。

「紫蔦会」は、白寿をむかえた伸枝の師であり、娘の蔦也(平成二十六年三月に逝きも幼少より手ほどきを受けた藤間蔦枝師主催の一門会で、伸枝と蔦也、孫娘の蔦佑の女三代で受け継ぎ、創立九十周年となり、この度は蔦也の追善として開催される。記念公演の見どころや抱負などを蔦佑氏(顔写真)にうかがう。

「お弟子さんは勿論の事、生前、母が親しくお付き合いさせて頂いた方々も快く賛助出演してくださることになりました。」紫蔦会では、いつも踊り以外にもちよつと趣向を凝らした番組でお客様に楽しんでもらっています。今回の大喜利も「白浪五人男」(稲瀬川勢揃いの場)を上演致します。母も私も師事しております藤間秀嘉先生が日本駄右衛門で特別出演してくださり、私は南郷力丸を勤めます。平成七年に開催した「第二十一回紫蔦会」(上写真)では、母が日本駄右衛門、私が南郷力丸でした。そんな思い出もありましたので、補導をしてくださる秀嘉先生に日本駄右衛門をお願い致しました。捕り手には藤間章吾さんや同世代の勝見智之さんが賛助出演してくださいませ。また会の中盤には《藤間蔦也振付集》として、母の振付作品の中で比較的短い「恋吹雪道成寺」「土手の月」「辰巳の左様」「お夏笠物狂い」「なすとかぼちゃ」を上演し、私は「なすとかぼちゃ」を踊ります。「白浪五人男」の道具を飾る時間を《幕間》としまして、高崎出身で『笑点』などにも出演されている音曲師の柳家紫文(しもん)さんに幕前で漫談をしてもらいます。(蔦佑)

折しも七夕の日にゆかりの人達が多数集って追善舞踊会をしよう蔦也氏は、大好きな三味線の音色に連れて、みんな、ありがとうネ!と何処ともなく現れ出るかもしれぬ、見どころ多き「紫蔦会」になりそうです。

※本公演の詳細は「催し物揭示板」60頁に掲載しました